



豊岡市

小さな世界都市
— Local & Global City —

豊岡市では、人口減少のスピードを
極力和らげるとともに、その対策を通じて、
なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう
「豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに
自信と誇りを持って住む人が増えている」
状態を目指し地方創生事業に取り組んでいます。
地方の未来、豊岡市の未来のために、
企業のみなさまのご支援をお願いいたします。



いきいきと暮らす女性が増えている

ジェンダー ギャップの解消

豊岡市の人口減少の最大の要因は、10代の大幅な社会減にあります。進学等で転出した若者のうち、20代で戻ってくる割合を男女別でみると、女性は男性の約半分です。なぜ豊岡が若い女性たちに選ばれていないのか。その要因の1つは、豊岡市が男性中心の社会であり、ジェンダーギャップの解消が進んでいないことだと考えています。

女性が女性であるというだけで、補助的役割のみに甘んじ、能力を磨き、発揮する機会もないとすると地域経済・地域社会にとって大きな損失で公正さ（フェアネス）に欠ける状態と言わざるをえません。ジェンダーギャップの解消は、まちの存続にかかわる極めてリアルな問題です。

豊岡市は職場・家庭・地域・学校を含むまち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを進めています。次世代により良い未来を引き継ぐため、男だから、女だからを超えて、暮らし方や働き方といった文化を時代に適応させ、互いに尊重し、支え合う社会を築き上げようとする、未来に向けた取組みです。

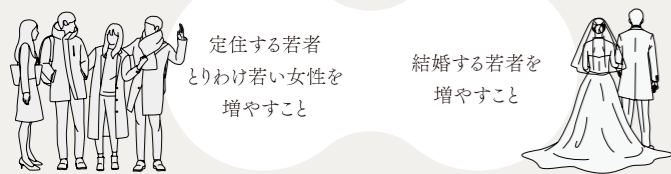
この取組みは、多くのメディアに取り上げられているほか、自治体・企業などの視察も多く、全国各地に広がっています。日本全体のジェンダーギャップ解消につながることを願っています。

豊岡の現状と地方創生

豊岡市の人口は、今後も減少が続くものと見込まれています。人口減少の大きな要因は、主に以下の2つが考えられます。

- ①若者の転出超過 — 15～24歳は大幅な転出超過となっており、特に女性の若者回復率*が男性に比べて低い。
- ②未婚率の上昇 — 近年、男女ともにすべての年齢階級で未婚率が上昇。

これらの要因の結果、出産適齢期の夫婦の数が減少して出生数が低下し、減少した子どもたちが成長して進学する段階でまた転出超過、という悪循環に陥っています。これを踏まえて、豊岡市では以下を対策の柱として据えています。



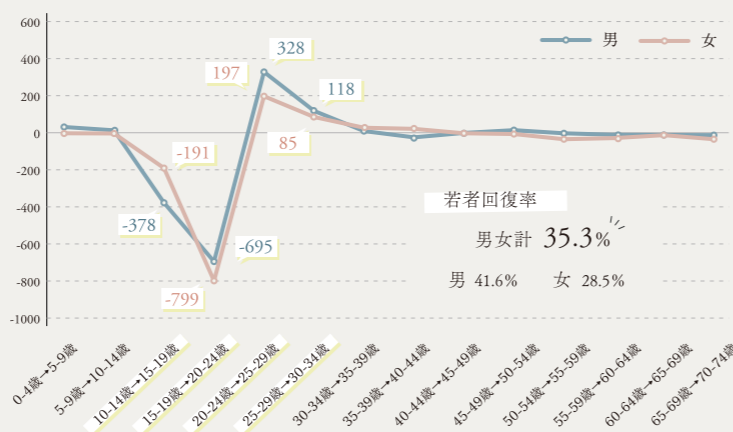
豊岡市の地方創生は、人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持を目的としています。「小さな世界都市 — Local&Global City —」を旗印として、突き抜けた「豊岡に暮らす価値と魅力」を創りあげていきます。

*10代の転出超過数に対して20代の転入超過数が占める割合

豊岡市の将来推計人口



年齢性別純移動数グラフ(2015→2020年)



豊岡で人々が世界と出会っている

出石永楽館 歌舞伎の開催



出石永楽館は1901年に開館した芝居小屋です。1964年にいったん閉館したものの地元から復活を望む声が高まり、復元工事を経て2008年に約半世紀ぶりに復活しました。舞台・座席・奈落など創建当時の雰囲気を感じられます。毎年上方歌舞伎の花形俳優・片岡愛之助さんを座頭に「永楽館歌舞伎」を開催しています。

寄附対象事業

豊岡で人々が
世界と出会っている

豊岡固有の魅力をさらに磨いて世界の人々とならなり、あわせて優れた人材を内外から受け入れて、豊岡で世界の一流と出会う機会を広げます。

豊岡演劇祭の開催 / コウトリ育むお米のブランド化推進 / 城崎国際アートセンター事業 / 出石永楽館歌舞伎の開催 / 芸術文化観光専門職大学との連携 など

いきいきと暮らす
女性が増えている

まち全体のジェンダーギャップ(社会的・文化的に作られた男女格差)の解消を図り、若い女性に選ばれるまちづくりを推進します。

ワークイノベーション戦略の推進 / 子育て中の女性の就労促進 / 女性の人材育成プログラムの開催 など

豊岡で人々が世界と出会っている

豊岡演劇祭

「豊岡演劇祭」は、豊岡市が進める「深さをもった演劇のまちづくり」のリーディングプロジェクトとして、2020年にスタートしました。毎年9月に開催される演劇祭は、演劇やダンス、大道芸など数々のパフォーマンスのほか、ナイトマーケットなど様々なイベントも行われ、全国各地から多くの人が来場します。

演劇祭では、豊岡市の未来のまちづくりに向け、企業や市民と協働でまちの課題解

決に向けた実証事業に取り組むほか、芸術文化観光専門職大学の学生も実習として演劇祭の運営に携わっています。

豊岡演劇祭2022は、国内、国外から77団体が参加、96プログラムを実施し、延べ18,250人が来場しました。

2021年には、スポーツ庁、文化庁及び観光庁主催の「スポーツ文化ツーリズムアワード2021」において文化ツーリズム賞を受賞するなど注目されています。

子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

コミュニケーション 教育の推進



子どもたちがこれからの社会をよりよく生きていくためには、「非認知能力*」の向上が重要で、その能力を向上させるためには演劇やダンスなどを用いたアウトプット型の学習が有効とされています。豊岡市では、演劇的手法によるコミュニケーション教育や演劇ワークショップを実施し、非認知能力の向上に取り組んでいます。

*「やりぬく力」「自分をコントロールする力(自制心)」「協力して活動する力(協働性)」など

豊岡の暮らしの『豊かさ』が
内外に知られている

豊岡で暮らす人、豊岡出身の若者、地方移住を考えている若者に、豊岡で暮らす価値や魅力を伝える取組みを行います。

高校生の総合学習等支援 / UIターン推進 (UI ターン希望者向け無料職業紹介所「ジョブサポ豊岡」の運営、Iターンワンストップ移住相談窓口) など

結婚したいと思う人が
結婚できている

実際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援、様々な出会いの場・若者が集う場の提供により、結婚したいと思う人が結婚できるよう取り組みます。

婚活イベントの開催 / 専門員「マリッジアドバイザー」の設置 / ボランティア仲人「縁むすびさん」の養成 など

多様なライフスタイル・働き方及び
多彩な事業活動が実践されている

魅力のある仕事の創造、多様性を受け入れ支え合う暮らしの創造、豊岡の強みを活かした事業などを支援する取組みを行います。

内発型産業の育成(ビジネス相談窓口、事業承継の推進、創業支援) / 多文化共生の推進 (外国人市民の相談会・交流事業) / スマート農業の推進 など

子どもたちのふるさとへの
愛着が育まれている

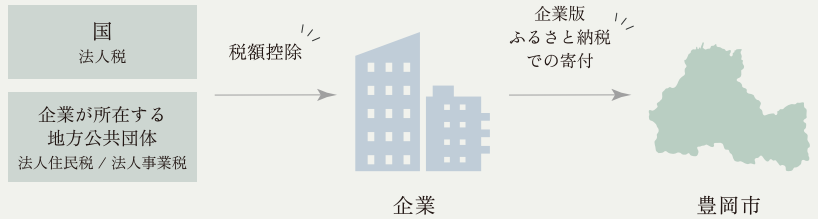
豊岡に愛着を持ち、世界規模で物事を考えられる子どもを育てるために、コミュニケーション教育等に取り組めます。

ふるさと教育 / 演劇的手法を用いたコミュニケーション教育 / 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施 など

この他にも「豊岡市地方創生総合戦略」に記載された事業が寄附対象事業となる可能性があります。

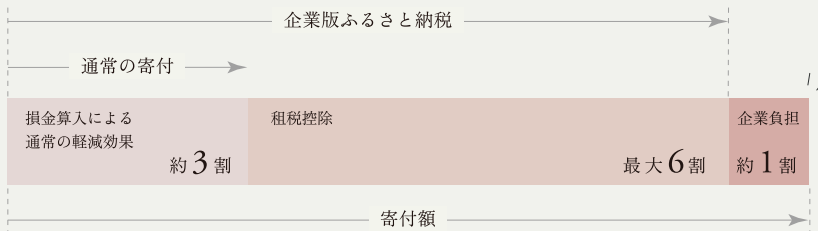
企業版ふるさと納税について

平成28年度に創設された企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業さまが寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。



軽減効果のイメージ

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

税額控除の手続き(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

制度活用にあたっての留意事項

- 1回当たり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。
 - ×寄附の見返りとして補助金を受け取る。 ×寄附を行うことを入札参加要件とする。
 - ※地方公共団体の広報誌やホームページ等による寄附企業名の紹介や、公正なプロセスを経た上での地方公共団体との契約などは問題ありません。
- 本社が所在する地方公共団体への寄附は、本制度の対象となりません。
この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します。
 - A県B市に本社が所在⇒A県とB市への寄附は制度の対象外
 - 次の都道府県、市区町村への寄附については、本制度の対象となりません。
なお、豊岡市は、地方交付税交付団体です。
 - i. 地方交付税の不交付団体である都道府県
 - ii. 地方交付税の不交付団体であって、その全域が地方拠点強化税制における地方活力向上地域以外の地域に存する市区町村*

問い合わせ先

豊岡市役所 DX推進部 経営企画課

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号

☎ 0796-21-9022

✉ keieikikaku@city.toyooka.lg.jp

https://www.city.toyooka.lg.jp

豊岡市
Toyooka City